

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ  
つなげよう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーは親睦と  
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン  
2560地区ガバナー 山本 和則  
高田ロータリー会長 水上 喜芳  
幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行  
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

## 第32回例会 ■ 2月26日(金)

No.32

### 会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。

今年は4年に一度のうるう年に当  
たり、今月2月は1日得をしました。

ご存知のように地球が太陽の周り  
を一周する時間つまり1年が365.24  
日で余りと言いますか端が出るため  
その調整が閏年になるためです。

この、端の0.24日、約5時間につ  
いては紀元前の古代エジプト時代  
から分かっていたようで今更な  
がら当時の天文学に驚かされます。

この閏年の計算方法が、なかなか  
厄介で4で割れば閏年というわけ  
にはゆかないため昔から閏年  
に関係したコンピュータシステムの  
トラブルが発生していました。

年齢計算もその一つで、閏年の  
2月29日生まれの人は誕生日が  
4年に一度だと言った様な冗談  
話もありますが因みに年齢計算上  
の一歳加算のタイミングは誕生  
日当日の午前0時つまり前日の  
夜12時と法律上で決まっています。

したがって、閏年の2月29日  
生まれの人も2月28日夜12時  
をもって1歳年を重ねること  
になります。

では、戸籍上の誕生日はと言  
うと、これは2月29日と記載さ  
れると言うことですが、『みな  
し誕生日』では3月1日と2月  
28日のどちらでも選択してよ  
いことになっているそうです、  
通例では2月28日としている  
そうです。

また、年齢は誕生日当日を含め  
ますがビジネス上の契約書の期  
間の起算日に契約日当日は『起  
算日不算入』の原則から含めな  
いことになっています。

本日の卓話は新潟県観光ガイ  
ドネットワーク会長であり上越  
観光案内協会会長の永見完治  
様からお話を頂きます、よろし  
くお願いします。

### 出席報告

出席率 100%

### お客様の紹介

例会見学者 加藤公一さん (平安セレモニー(株))

### メイクアップ

本山秀樹君 (2/20 第2回ロータリー財団セ  
ミナー・補助金管理セミナー)

### 委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

高橋孫左衛門君——我家に2番目の孫が誕生  
しました。71年ぶりに男子誕生です。

本山会長エレクト

地区ロータリー財団研修の報告

### 会員インフォメーション



勝俣万亀男君——退会のご挨拶 (2016年  
2月29日をもって退会)

## 幹事報告

配布物：週報No.31

回覧物：新会員推薦申込カード（加藤公一さん）

報告：3月のロータリーレート 116円/ドル  
内規の一部改訂について

### 改訂内規

#### 〈長期欠席又は・理由のある欠席についての内規〉

第1 本内規はクラブ定款第9条、第3節、(a)、(b)、の理由ある欠席についての詳細を規定とする

- (1) 自己都合により、理事会承認の条件と事態に従った長期欠席の届出があった場合、理事会はこれを承認し、欠席者会費納入後、欠席者個人名でロータリー財団に300ドルと米山奨学会に6万円を上限にその年度の予算状況を勘案し理事会で、その当該年度の寄付額を決定して、欠席者のクラブ会員としての功績を残す。
- (2) 1つ又はいくつかのロータリー・クラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上となり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望者は書面をもってクラブ幹事に通告するものとする。
- (3) 理事会で出席免除を承認した者にあつては、本クラブの出席率の算出にはその欠席数も出席数も使わない  
但し、クラブ内皆出席表彰規定には100%出席者として該当するものとする。

この規定は平成17年7月1日より適用する。

改定 平成28年3月1日

## 卓話 大河ドラマ「真田丸」によせて



にいがた観光カリスマ

上越観光案内協会会長 永見 完治 様

NHK大河ドラマ「真田丸」が好評のうちに物語が進んでいます。この2月1日の「広報じょうえつ」と共に、上越市の皆様へという1枚のチラシが各家庭に配布されました。

姉妹都市である上田市から「信州上田真田丸大河ドラマ館」の特別割引クーポン券が6枚付きの案内書でありました。

大河ドラマ「天地人」放送の際、観光客の入り込みの多さに驚いた経験をもつ者のひとりとして教えられた思いを強くしたことでした。

あの時、我が上越市はゆかりの上田市へ「どうぞ春日山城へお越し下さい」のキャンペーンをしたのだろうかということです。

少なくとも、この度の上田市のようなクーポン券付きのチラシを上田市の全家庭に配布するという発想はなかったと思われます。

筆者は、昨年来、何度も信州の関係者からの依頼を受けて大河ドラマに関連するテレビ番組や新聞の取材などの手伝いをしてきたところですが、何によらず積極的です。

真田丸で幸村が春日山城に人質で入るのは天正13年(1584)のことでした。時を置かず豊臣秀吉のもとへ上杉家と共に臣従することになります。

このわずか数年の激動のドラマを楽しみにしたいと申し上げます。

戦国時代、このあたりの物語は川中島合戦よりも複雑で、見方によれば教えられる事象に富んでいると存じます。

歴史上の英雄・名将に教えられ、数多くの修羅場をくぐり抜け義を貫いた幸村は案外身近な武将として親しめる存在ではあります。